

## 7M-GをベースにTD-05、06の合体ツインターボ

チューンド7M-Gの開発が進む今日、あのトライアルによるファーストチューンが完成した。ターゲットはもちろんオーバー300km/hの最高速トライアルだ。

もっとも注目したいシステムがこれまでのチューニングノウハウを注ぎ込んだツインターボだ。

HKS・5M-Gツインターボ用42φステンレスEXマニを改造し、TD-05と06の合体タービンを2基装着。つまりIN側に06、EX側に05を使用することで、低速トルクたっぷりの全域ターボにセッティングしている。

最大過給圧はHKS・VVCで、1kg/cm<sup>2</sup>に設定。そしてHKS・レーシングタイプ、ウエストゲートにより過給圧の安定を図り、十分な冷却効果を得るためにHKS・インタークーラースペシャルタイプをラジエター前にセットしている。

排気系は50φのフロントパイプにHKS・75φマフラーだ。

エンジン本体はこの増大したツイ

インターボパワーに対処すべく、HKS・1.6mmメタルガスケットと83mm鍛造ピストンを組み込んでいる。圧縮比は8.5とノーマルとさほど変りはない。

燃料系はメインをHKS・Fコンで補正し、追加インジェクター750cc/分×2をサージタンク手前にセットしている。コントロールしているのはHKS・AICで、その噴射タイミングは4000rpm〜と、過給圧0.6kg/cm<sup>2</sup>〜で0.95kg/cm<sup>2</sup>で全開となる。この燃料セッティングで排気温度は850℃前後となっている。

現在の所、このチューンド7M-Gツインターボは、シャシーダイナモで500強psを計測している。

これまでの実績から、最高速トライアルではオーバー300km/hは必至だが、オリジナルのスタイルを保ったマシンだけに最高速レコードを塗り変えるまでの仕様ではない。

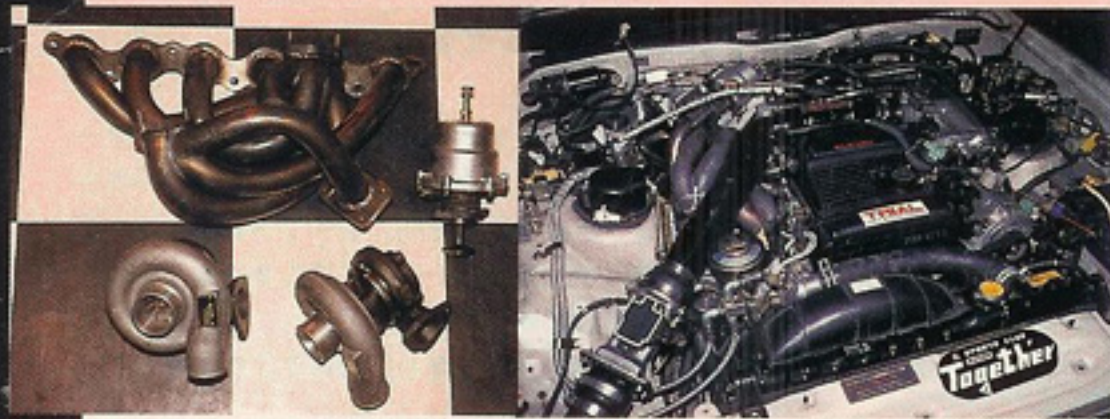
美しく、速く、そして扱い易いという、トライアルの今後の方向性を示唆する最高速マシンだ。

東大阪市菱江780-1 ☎0729-65-6823

↓トライアルのチューンド7M-Gのワンステップはツインターボ。ソアラのビッグボディで300km/hクルージングだ。



オーナー・松本慎一



オーナー・三谷 啓